

ワークキャンプ4 2020 7/23-26

太平洋高気圧の勢力が弱く厚い雲に覆われた関東地方、梅雨明けが待ち遠しいですね。1998年に秋田県森吉で開催された12NJを思い出す気候です。当時はサブキャンプの配給担当で、ローバースカウトと食料や資材の配給を行っていました。暑い夏を予測して、派遣隊の要望に応じて氷を予約秋田市内から大量に仕入れていたのですが、寒くてほとんど廃棄した思い出があります。秋田の派遣隊は薪ストーブを持ち込んでいたのには驚かされました。流石、森吉を良く知っていらっしゃる。

さて、今回の作業は「フローリング」ロフトとログハウスの1F（管理人室）、シリンダーキーの交換、キャンプ場の整備、キャンパーの受け入れなどです。7月23日午前4時に松田を出発

山荘には7時50分着、気温は16℃、雨が強く降り涼しいと言うよりも寒い気温です。今日から2泊3日でキャンプ場を使用するのは、尾方陶芸教室の生徒さん K氏50代ぐらいで、ソロキャンプの予定です。草刈りをしてキャンプ場の整備をしておく予定でしたが外は土砂降りとても無理な天候です。そこで、ホールの裏口扉シリンダー錠を交換することにしました。作業は5分で終了！ 昨年かから鍵の交換について悩んでいたのがウソのように、+ドライバー1本でとても簡単に交換できました。色々なことに挑戦する気持ちが大事ですね。

お昼頃にK氏到着、どんなことをやりたいのか？どこに行ってみたいのか？



キャンプ歴などを伺いながら昼食を済ませて午後から、場内を案内しました。天気予報によると23日は終日雨で24日から天気は上向き予報です。そこで、今日はログハウスに泊まって、明日からキャンプをするように提案しました。

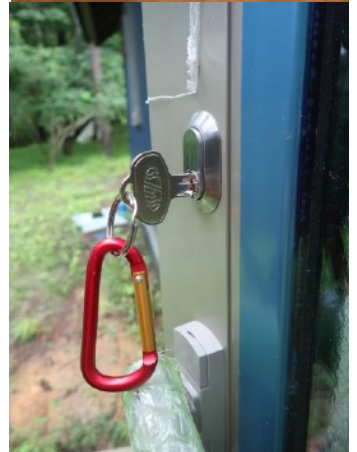
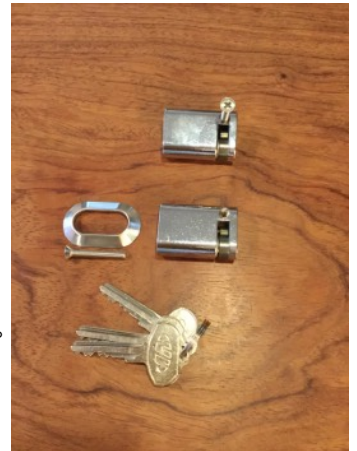
K氏は私のあこがれている、ジムニー新車は現在も13ヶ月待ちとか、1年以上も待てないですよ。コロナの自粛が緩和されて初めての

連休でしたから、高速道路は大渋滞（事故）圏央道・関越・上信越経由で5時間以上かかったそうです。渋滞が無ければ2時間30分で到着するはずですから、連休の高速道路は時間もお金もかかって大きな損失です。K氏のキャンプスタイルは「呑んで食べて」どこにも行かないということなので、16時ごろから二人で呑んでしゃべって、寝ることにしました。22時就寝、随分しゃべりました。

7月24日（金）スポーツの日 5時40分起床

15℃ 21℃ くもり

コロナが無ければ東京オリンピックが開幕して、世界中から多くの人々が来日していたのですが、今日のスポーツの日はオリンピックのために特別に連休にした休日です。雨もやんだので朝食後にK氏はテント張り、私はホールの一階で作業の準備。8時45分に尾方さん到着。材料の残り具合などを調べて、ログハウス1Fの管理人室から作業をすることにしました。





この部屋は南東向きで、風も通り過ぎしやすい部屋です。カーペット敷きでしたが、フローリングに換えることで清潔に生活できるようになります。壁が丸太（ログ）のために、直角ではないし、隙間もありいつもどおりですが尾方さんの腕の見せ所（はっきり言って面倒な作業の連続です）です。どうしても隙間が出来てしまうので、そこは「コーキング」で処理をすることにしました。90分ほどでフローリングの作業は終了、あとは私がコーキング材で隙間を埋めて、ついでに「丸太（ログ）」の壁に出来た隙間も埋めることにしました。木材は年月が過ぎると水分が抜けて、縮みます。このログハウスは建築から30年ほど経過しているのです、壁の隙間もだいぶ広がっています。今後もこの作業を続けていかななくてはなりません。



雲が多い日は携帯の電波がなかなか入らないので、着信に気づきませんでした。佐藤秀勝さんから電話が入っていました。場内に何とかアンテナ2本立つ場所があるので（今のところ3カ所）そこへ移動して、電話連絡したところ、お昼頃にひろばを訪問するということでしたので「歓迎しますとお返事して」 作業再開。

ソロキャンパーK氏はドームテントにヘキサゴンタープ、

炊具とクーラーボックス、焚き火台を設置して設営完了！遅い朝食の準備を始めていました。タープを伝わって、煙が立ち上る様子はベテランキャンパーのようです。



昼過ぎに佐藤さんご夫妻と香港から筑波大学に留学しているガールスカウトがひろばに到着！お土産の海苔巻きやお稲荷さんをいただいて、ホールで昼食としました。留学生はコロナ騒動で身動きが取れないのと、中国の国家安全法のために身の安全も保証できないようです。佐藤家にホームステイして状況を確認しているようです。



全てが解決して香港のスカウトをひろばに招待したいですね！昼食を終えて、建築したホールやログハウスなどを見学していただきました。香港スカウトが訪問する日が楽しみです。

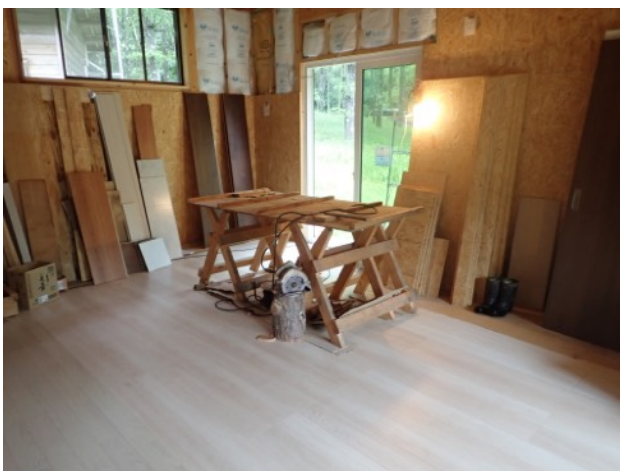
午後から尾方さんはロフトのフローリング、私は少し陽が出てきたので、キャンプ場への通路とログハウスの周りの草刈り！K氏は温泉に出かけていきました。ロフトのフローリングはあと1坪ほどで、材料が無くなってしまい材料を仕入れるまで作業は延期となります。16時に作業終了。

釘などの資材が無くなったので、佐久市内まで買い出しに買い出しに行くことにしました。山荘を出るときは小雨でしたが、市内に入ると前が見えないほどの土砂降り、ヘッドランプをつけて

徐行しないと危険な状況でした。運良く、ホームセンターの軒下まで入ることが出来たので傘なしで店内に走り込みました。(しまった! マスクを忘れた) 帰り道に浅科温泉に立ち寄りゆっくり温まってきました。世間は連休なので、温泉には家族ずれが多く幼い子どもたちがうろうろして可愛らしく癒やされます。山荘に帰って、夕食(お昼の残り)と読書、21時就寝。



7月25日(土) 6時起床 15℃夜半から雨が強くK氏は眠れない夜を過ごしたようです。明け方から天気は回復、薄日も出てきました。



9時ごろ尾方さん到着、ロフトのフローリングを施工して、材料も無くなったので次の作業の準備を行いました。トイレと台所に設置する扉(2枚)を制作するために設置場所の計測、材料の手配(これは無垢の床材と間柱で)

そして台所の流し台はステンレスの古い物が2台あったのでそれを清掃して使用することにしました。次はロフトに上がる階段の設計と材料の手配(大きさや数量)です。これはログハウスの階段を参考にして、高(2.5m)さと角度(45°)幅(600mm)として材料を発注することとしました。



7月26日までの予定でしたが、細かい残作業はあるのですが材料も無くなってしまい少し疲れたので、今回の作業はこれで終了としました。

K氏は11時頃に出発、尾方さんも昼には帰宅、私も片付けをして各施設を施錠して12時30分には山荘を出発、松田に向かいました。

道路は空いていて17時には到着しました。

ワークキャンプ4回目は2日間の作業でした。完成までの先が見えてきたようです。まだまだやることを思いつくのですが、屋根や外壁を作っているときの危険な作業や恐怖感、疲労感筋肉痛もなくなってきました。次回は8月に行いますので、お手伝いいただける方はご連絡ください。お疲れ様でした。